

第 3057 圖

### もみたけ

*Armillaria ventricosa* Peck.

秋季、主＝山中樅林＝生ズ。其色初メ白ク、後＝淡褐色トナル。莖モ亦同色ナレド鏢ヨリ上部ハ純白ナリ。莖ハ肉厚ク太短シ、下端ハ尖ル。初メ顯著ナル蓋膜アリテ、蓋ノ開キタル後、明瞭ナル鏢トナリテ残ル。蓋・莖ヲ通ジテ肉白ク緻密ナリ。食用＝供ス。さまつノ方言アリ。



第 3058 圖

### ならたけ

一名 はりがねたけ

*Armillaria mellea* (Vahl) Fr.

秋季、朽木ノ根株又ハ埋レル朽木ノアル附近ノ地上＝生ズ。往々細キ根ノ如キ長キ菌絲束ヲ生ジ蔓延ス。故＝はりがねたけノ名アリ。蓋ハ徑 5-15cm 許、潤ヘル時ハ多少粘性ヲ帶ブ。莖ハ上部＝鏢ヲ有ス。莖ノ下端部ハ往々淡黄色ヲ呈ス。蓋ノ表面＝棘狀ノ鱗片ヲ戴クコトアリ。胞子白色。一般＝食用トス。世界的＝最モ普通ナル茸ナリ。又桑園＝蔓延シテ桑樹ヲ害スコトアリ。おにのやがらノ根ノ組織中ニハ本菌ノ菌絲ヲ共生セリ。



第 3059 圖

### えのきたけ

一名 なめたけ・なめすすき・  
なめこ・ゆきのした

*Collybia velutipes* (Curt.) Fr.

冬季、えのき・かき・いちじゆく等ヲ始メ多クノ潤葉樹ノ朽チツアルモノノ地ニ接スル所＝叢生ス。蓋ノ表面ハ、黄褐色或ハ栗色等ヲ呈シ、中央部色濃ク、徑 2-10cm 許、潤ヘルトキハ粘性強シ、莖ノ基部ニハ黒褐色ノ細毛ヲ密生ス。寒中積雪ノ下ニアリテ能ク生育シ、食用菌ニ乏シキ時季＝生ズル美味ナル食用菌ナリ。黒褐色ノ細毛アル莖ノ基部ヲ除去シテ用ヒ、吸物ノ實トシテ甚ダ佳ナリ。



### まつかさつゑたけ

*Collybia conigena* (Pers.) Bres.

秋季、林地・松樹下等＝生ズル爛菌中ノ小菌ニシテ、蓋ハ闇褐色。爛ハ白色。莖ハ細長ク地下＝入リテ根狀トナリ、土中＝埋没セル松ノ毬果＝附着セリ。即チ本菌ハ常＝土中ニテ腐朽シツツアル松ノ毬果ヨリ生ズルモノナリ。



第 3061 圖

### ひらたけ

*Pleurotus ostreatus* (Jacq.) Sacc.

秋季、山野ノ各種ノ樹木＝重疊シテ叢生ス。普通ノ形態ハ半圓形ニシテ側方＝短莖ヲ有スレドモ、往々長キ莖ヲ有スルコトアリ。蓋ハ鼠色ナルヲ常トスレドモ、時ニ黒褐色ナルコトアリ、又白色ナルコトアリ、發生場所ノ狀況ニ依リ形態・色彩ヲ異ニス。味頗ル美ニシテ、廣ク食用ニ供セリ。毒菌月夜茸ハ、外觀是ニ類スルヲ以テ、山民往々誤食スルコトアリ。



第 3062 圖

### つきよだけ

*Pleurotus japonicus* Kawam.

ぶなノ枯レタル樹幹ニ限リテ生ズ。多數相重疊シ、往々樹上高キ所ニモ生ズ。蓋ハ腎臟形又ハ半圓形ニシテ、初メ淡紅褐色、後＝紫色ヲ帶ブルニ至ル。蓋ノ一側＝短莖アリ。形ひらたけニ類スレドモ、莖・爛ノ境分明ニシテ、爛ハ莖ニ垂生セズ(但シ稀ニ垂生ノ觀ヲ呈スル者アリ)、且一種ノ臭氣ヲ有スルコトニ依リテ區別スルコトヲ得ベシ。又新鮮ナル間ハ、爛全部發光スルガ故ニ、夜間ニ白キ發光ヲ認ム。本邦固有ノ發光菌ニシテ、且有毒菌ナリ。



まつたけ科

まつたけ科

まつたけ科

まつたけ科

まつたけ科

まつたけ科